



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／小野 仁
- 副会長／宮坂有澄・佐藤有司
- 幹事／山岸邦太郎
- 会報・雑誌・広報委員長／林 尚孝

■ 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F

Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:okayarc@amber.plala.or.jp

■ 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2534 回例会 2011 年（平成 23 年）8 月 23 日（火）

点 鐘：小野 仁 司 会：高木昭好
ラッキーNo.：No.1 小野仁 ビジター：笠原秀孝様(ガバナー補佐事務局)
斉 唱：それこそロータリー

会長挨拶

今日は小松郁俊ガバナー補佐訪問ですので、関連したお話を少しさせていただきます。

皆様は風樹文庫・風樹の会の名前を耳にしたことがあるかと思います。今から 130 年前の 1881 年、昔の中洲村に岩波茂雄が誕生しました。父に早く死別し苦学して東京帝国大学を卒業、大正 2 年に岩波書店を創業しました。以降硬派・反体制の書籍を主としてきました。

時は移り昭和 22 年敗戦で全てを失い活字に飢えていた郷里中洲村の青年達が岩波書店に寄付をお願いしたところ、快く 200 冊の本が寄贈されました。爾来岩波書店の出版物全てが寄贈され今では 35,000 冊となり、諏訪市立風樹図書館として、岩波書店の全出版物がそろっている図書館として有名になりました。私の学生時代、難しすぎて自分では決して買ったことがない、雑誌「世界」を電車の中で読む学生を見ると、尊敬した記憶があります。

小松補佐は医師として地域の人々の医療を守る傍ら、その「信州ふうじゅの会」の会長として地域文化を次世代へ継承していくことに情熱をもった先生です。

「風樹の嘆き」とは中国の漢詩で「樹しずかならんことを欲せども風やまず」「子養わんとすれども親もたざるなり」若くして両親をなくした岩波茂雄翁の悲しみからきているそうです。

幹事報告

- ・9月のRレートは 1\$78円です。
- ・三クラブ合同夜間例会の案内のファイルが開けない方がいるという事なので、本日再送信します。
- ・ナイトクルーズ例会で船に傘の忘れ物が多くありました。ホテル岡谷さんのフロントに預けてあります。心当たりの方は取りに来て下さい。

- ・諏訪湖 RC の例会場、事務局が変更になりました。メイク等間違いの無い様に願
いします。 例会場＝ぎん月 下諏訪町立町 3306 TEL 27-5011
- ・本日例会終了後にクラブ協議会を開催します。よろしく願います。

委員会報告

親睦委員会 先日のナイトクルーズには大勢の会員、ご家族にご参加いただきあ
りがとうございました。



ガバナー補佐事前訪問

第 2600 地区諏訪グループ
ガバナー補佐 小松郁俊様

小野会長は私と高校の同学年生です。また、皆様のお顔を拝見しま
すとどこかでお世話になっている方々が大変多く、心強いです。諏訪
の各クラブと 2600 地区との連絡係として 1 年間務める事が出来ればと思っております。

この半年間、様々な準備をしてきましたが、私の諏訪大社 RC はこれから 20 周年
を迎えるというところでの、IM を行う事は大変に重い仕事ですが、地域の期待に
応える事が出来れば幸いと思ひ何とか頑張っている状態です。IM を実りあ
るものとしたいと頑張っております。しかし皆様のご協力が無ければ出来ませんの
で、よろしく願います。

皆さんに RC の話をするほど私は詳しくありませんので、今日は本職の話をして
頂きす。私は内科医です。学校や保育園の嘱託医という仕事があります。その中
で私は H2 年から蓼科保養学園の嘱託医をしております。大正 12 年、諏訪市の小沢
侃二先生によって創設された、虚弱児童の心身の鍛練と体位の向上のための施設で
す。昭和 23 年に諏訪市に寄贈され、さらに昭和 27 年から児童福祉法に基づく虚弱
児施設として運営されてきました。蓼科湖の少し上の風光明媚なところにあります。
小学 5 年生の児童が 3 カ月間 40 人ずつ集団生活を送ります。ここで子供達はメキメ
キと健康を取り戻します。コレステロール値も正常に筋肉がつき肺活量も多くなる、
走るのが速くなる等々、何といたってもたった 3 カ月間の間に精神的にも大きく成長
します。その一番の秘訣は何かといひますと、親から離れて一人で生活すると言
う事です。これによって子供達は初めて等身大の自分を見る事が出来ると言
う事で、大きく成長します。親から離れて健康になるのは不思議な話です。規則正しい生活、
十分な運動量等というのは家庭でできそうな事です。

私が一番思った事は、家族って何だろう？という事です。家族とは父さん、お母
さん、子供たちがいる。当然のことです。家があり、素敵なキッチンがあり、庭に
は犬が……等々。庭で子供たちが遊び、お父さんが会社へ行くのをお母さんが嬉し
そうに見送る。この素敵な家族像は 1939 年ニューヨーク万博で作られた物を売るた
めのコピーだったのです。アメリカは世界中にテレビを通してアピールをしました。

これを見て私たちはしあわせになろうとして冷蔵庫を買い、車を買って、家を建てました。それから50年、本当に私たちは幸せになったのでしょうか？いつの間にか気がついてみると残されたものは二つのふるい顔だけ。家も車も古くなり、子供達は家を出て、新しい家族をつくりました。

若い夫婦にあなたにとって一番大事な家族は誰ですか？と聞きました。当然のことながら子供が一番です。次が配偶者。3番目が自分。次が友人です。実の両親と答えた人がたった3%。舅、姑はゼロでした。つまり新しい家族像にはおじいちゃん、おばあちゃんが入って無かったです。私たちは高齢化社会に向って行くわけです。こうなれば高齢者は公的機関が見ると言う事になります。そこで介護保険が生まれ、諏訪の6市町村だけで年間に100億円かけて高齢者の面倒をみています。この家族像が私たちにもたらしたものです。

高齢者の居場所がどこにあるのかつくづく感じさせられます。私はふうじゅの会という友の会を作りました。そこで毎月のように講演会や音楽会等様々なイベントをしています。高齢者の方々が集まって楽しそうに遊べる場所があっても良いんじゃないかと感じました。自分たちの人生これまで生きてきた人生を認めて欲しい。元気なうちは自分たちで自分たちの楽しめる場を作っていきたい、出来れば誰かの役に立ちたいと言うのが望みではないかと思えます。

当クラブの計画書を読ませていただきました。様々な事業を地域に展開されており、素晴らしいと思うと同時に歴史の厚みを感じました。私たちロータリアン、ロータリークラブというのは力を合わせ家族にも、地域にも、世界全体にも影響を起こしていく事が出来る。楽しい生き活きとした活動を通じて、地域の力を強め、家族の力を育てていく事ができたら素晴らしい事ではないかと私は願っています。

今年度のカルヤン・バネルジーR I会長は「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」をテーマにしました。その中に3つの強調事項があります。「家族」「継続」「変化」です。家族の中で、家族と家庭を私たちの活動の核として人類全体に手を差し伸べることの大切さを語っております。

そして、都筑地区ガバナーは「博愛はこころの中に、あなたがロータリーです」として8つの方針を出し、会員増強を第1に掲げました。若い会員、女性会員の勧誘にも力を入れて頂きたいと思えます。

東日本大震災への支援として災害遺児支援、ファイブツープランプロジェクトも進行しようとしております。復興基金の活動も進めています。次回ガバナーが訪問された時に説明されると思えます。

最後にポールハリスが日本に来た時にあなたはどのようにしてRCを作ったのかという問いに「寂しかったから」と答えた事は有名ですが、今ほど心を共に生きていく、一緒に生きていく仲間を求めている時代は無いような気がします。多くの仲間を得るのは生涯の宝だと思います。岡谷RCが益々発展されて、出来れば私達7つのクラブが力を合わせる事が出来たら素晴らしい事だと思えます。

岡谷RC、皆様のご発展をご祈念申し上げます。一年間よろしく申し上げます。

ニコニコボックス

小松郁俊様(諏訪グループガバナー補佐) 岡谷ロータリークラブ、初めて訪問させていただきます。一年間よろしくお願いいたします。

井上保子・梅垣和彦・太田博久・大橋正明・小口雅弘・小口泰史・尾関秀雄・小野仁・笠原祥一・北澤洋之介・小松正二・佐藤有司・白鳥修次・杉田隆夫・瀬戸雅三・高木昭好・竹村一幸・塚田保則・中嶋孝一・中村文明・濱 透・濱 俊弘・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・原 史郎・平沢清文・藤森睦美・宮坂 伸・宮坂宥洪・宮坂宥澄・宮澤由己・矢島 進・矢島 實・山岡正邦・山岸邦太郎・山崎典夫 小松郁俊ガバナー補佐を歓迎いたします。

中畑隆一 ナイトクルーズの写真をいただきましたので。

笠原新太郎 太鼓祭りのおどり部門「みなこいわっさか」大盛況でした。来年は岡谷ロータリー連を作って参加します。(希望)

塚田保則 今年で丁度 80 年になりました。

8/9 富岡ロータリークラブ 本日のナイトクルージング楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

出席報告

会員数 47 名、出席者 40 名、出席率 85.10%、前々回訂正 76.59%

2011-2012 年度 R I テーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity

